

31th RIVIERA ZUSHI MARINA CUP

【帆走指示書】

1. 適用規則
 - 1-1. セーリング競技規則 (RRS) 2013-2016
 - 1-2. 日本セーリング連盟規定
 - 1-3. IRCルール2013
 - 1-4. レース公示および本帆走指示書
2. 競技者への通告
 - 2-1. 競技者に対する通告は、レース本部に設置される公式掲示板に掲示される。
 - 2-2. 海上において本部艇より音声にて通告を行う場合がある。この場合本部艇にL旗を掲揚する。
3. 帆走指示書の変更
 - 3-1. 帆走指示書の変更は10月13日08:00までに公式掲示する。
 - 3-2. 海上における帆走指示書の変更を行う場合には、本部艇にL旗を掲揚し口頭により各艇に通告する。
4. 海上確認
レース当日10:10までにL旗を掲揚した本部艇の船尾を右舷に見て通過し海上確認を受けること。海上確認時はセール番号またはリコール番号を表示すること。
5. 参加艇の義務
 - 5-1. 通信手段として1台(以上)の携帯電話を搭載し、この携帯番号を出艇申告書に記載し提出すること。
 - 5-2. クラス識別旗をバックステー付近に掲揚すること。
 - 5-3. 本部艇にY旗が掲揚されている場合、レース中ライフジャケットを着用すること。
また、Y旗が掲揚されていない場合でもライフジャケットの着用を強く推奨する。
 - 5-4. スタートしない艇、レースを棄権した艇、レース中に事故を起こした艇は速やかにレース本部に報告すること。
 - 5-5. 通信手段としての携帯電話の予備バッテリー、水密パックの搭載を強く推奨する。
6. レース日程・予告信号時間
10月13日(日) 10:25 予告信号 全てのクラス同時スタート
7. クラス
 - 7-1. クラス分けは、ハピネスクラス、オープンクラス、IRCクラスとする。
 - 7-2. 各クラスの識別旗の色は次の通りとする。
ハピネス:イエロー、オープンクラス:ピンク、IRCクラス:グリーン
 - 7-3. 参加艇数により更にA・Bクラスに分けることがある。
8. コース
 - 8-1. 逗子マリーナ沖スタート→ウェザーマーク→烏帽子岩→逗子マリーナ沖フィニッシュ
各マークのどちら側を通過するかは図に示す。(略図参照)
 - 8-2. 風向きによってコース①(数字旗1)とコース②(数字旗2)の2つのコースのどちらかで行う。
 - 8-3. コース①、及びコース②のどちらのコースで行うかは、スタート予告信号以前又は同時に数字旗を本部線に掲揚することによって示す。
9. スタート
 - 9-1. レースは、全てのクラスが同時にスタートする。
参考: 予告信号(スタート時刻5分前) クラス旗掲揚・音響信号1声
準備信号(スタート時刻4分前) P旗掲揚・音響信号1声
1分信号(スタート時刻1分前) P旗降下・音響信号1声
スタート信号 クラス旗降下・音響信号1声
 - 9-2. スターティングラインは本部艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗を掲揚したマストまたはポールと円筒形イエローブイの間とし、同艇を右舷に見てスタートする。
 - 9-3. スタート信号後20分以内にスタートしなかった艇はDNSと記録する。これは規則A4を変更している。
10. リコール
 - 10-1. リコール艇があった場合はX旗を掲揚し音響信号1声で通告する。
 - 10-2. ゼネラル・リコールの場合は第1代表旗を掲揚し音響信号2声で通告する。
 - 10-3. ゼネラル・リコール後の新たな信号は第1代表旗降下1分後に発せられる。
11. スタートの延期
 - 11-1. スタートを延期する場合はAP旗掲揚と音響信号2声で通告する。
 - 11-2. スタートを延期した場合の新たな予告信号はAP旗降下の1分後に発せられる。

12. フィニッシュ
 フィニッシングラインは、ブルー旗を掲揚した運営艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗掲揚ポールと円筒形イエローブイの間とする。
13. コースの短縮
 13-1. コースを短縮する場合は運営艇にS旗を掲揚する。
 13-2. コース短縮をした場合のフィニッシングラインはブルー旗を掲揚した運営艇〔リビエラ旗掲揚〕のS旗掲揚ポールと烏帽子岩の最高点の間とし、運営艇を左側に見てフィニッシュする。
14. ペナルティ方式
 14-1. RRS第2章に関わる規則違反については2回転ペナルティが適用され、規則31に違反したかもしれない艇は1回転ペナルティを適用する。
 14-2. リコールに関わる規則違反については、OCSに代わる罰則として、タイム・ペナルティ（5%）が適用される。
 14-3. その他の規則違反については、プロテスト委員会の判断により、失格またはタイム・ペナルティ（5%）が適用される。
15. タイムリミット
 15-1. タイムリミットは全クラス共通で16:00とする。
 15-2. タイムリミットまでにフィニッシュしなかった艇はDNFと記録する。これは規則35を変更している。
16. 抗議（救済の要求）
 16-1. 抗議（救済の要求）は、RRS-61（RRS-62）に従い、所定の抗議書に記入し、レース本部に提出すること。
 16-2. 抗議の締切時間は最終艇フィニッシュ後90分の時刻とする。
 16-3. 抗議（救済の要求）の提出はFAXに代えることができる。
 但し、審問の際に抗議書の原本を提出しなければならない。
17. 順位の決定
 17-1. ハピネスクラス・オープンクラスのレーティングはレース委員会が付与する。
 17-2. ハピネスクラス・オープンクラスはリビエラ・レーティングによりタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。
 17-3. IRCクラスはタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。
 17-4. 修正結果が同じ場合はレーティング数値の小さいほうの艇を上位とする。
18. 運営艇
 公式運営艇には『RIVIERA CUP旗』を掲揚する。
 本部艇：モーターボート（38ft）白ハル
 運営艇：モーターボート（33ft）青ハル
19. レース本部及び公式掲示板
 レース本部および公式掲示板は、逗子マリーナハーバーオフィス前に設置する。
 TEL：0467-24-1000 FAX：0467-24-8596

以上

【コース略図】

